

平成 23 年度

事業計画書

1 法人の概要

■ 設置する学校学科の名称および所在地

学校名	所在地
下関短期大学	〒750-8508 山口県下関市桜山町1-1
付属高等学校	〒750-8508 山口県下関市桜山町1-1
付属第一幼稚園	〒750-8508 山口県下関市桜山町1-1
付属第二幼稚園	〒750-0086 山口県下関市彦島塩浜町2-2-21

■ 設置する学校学科の入学定員と学生生徒園児数

【下関短期大学】

学科名	入学定員	入学者数	収容定員	学生数
栄養健康学科	40	23	90	46
保育学科	50	39	100	77
計	90	62	190	123

【付属高等学校】

学科名	入学定員	入学者数	収容定員	生徒数
普通科	60	47	200	133
くらしデザイン科	30	12	100	62
音楽科	20	10	80	24
計	110	69	380	219

【付属幼稚園】

学校名	入園定員	入園園児数	収容定員	園児数
付属第一幼稚園	35	24	105	84
付属第二幼稚園	35	31	105	70

※平成23年5月1日現在

■ 役員・評議員・教職員の概要

【役員】

理事長	松井 忠夫	監事	吉岡 一生
理事	花岡康次郎	監事	小倉 國雄
理事	伊藤 清之		
理事	河野 光子		
理事	清成 昭典		
理事	沖田 哲義		
理事	山本 徹		
理事	岡本 博之		
理事	片野 静次		

【評議員】 21名

【教職員の概要(専任)】

学校名	教員	職員	計
短期大学	14	8	22
付属高等学校	21	3	24
付属第一幼稚園	4	0	4
付属第二幼稚園	4	0	4
計	43	11	54

※平成23年5月1日現在

2 事業の概要

■ 基本方針

- 地域の教育機関として、地域と連携し、地域に貢献すると共に、学生・生徒・園児の増加を図り、選択と集中の原理に基づき、費用対効果を考えた事業展開を実施する。

■ 【短期大学】

1 特色ある学校づくり

- 建学の精神、教育理念の周知徹底を図り、豊かな人間性と高い倫理観を持った栄養士、保育士、幼稚園教諭の育成に努める。
- 担任制・ゼミ制・チューター制の推進により、学生の一人一人を大切に、その就学力・リベラルアーツ(Liberal arts)の向上に努め、学生の質の向上を図る。
- 授業改善・教育内容の精選・一斉学力テストの実施等により、学生の免許・資格取得率、就職率の向上を図る。
- 公開講座の充実、地域活動、ボランティア活動等への積極的参加により、地域に貢献する教育活動を推進し、地域の高等教育機関としての存在感を高める。

2 地域貢献

- 学生の社会的活動による地域貢献(ボランティア活動・施設訪問等)の充実を図る。
- 地域活性化のための連携教育(食育推進事業・公開講座等)の推進を図る。
- 地域教育力向上連携支援(地域発達障害センター活動等)の充実を図る。

3 学生募集活動

- 地域に密着した、シンプルで分かりやすい募集活動を展開する。
- 日々の教育活動を情報発信するホームページ・広報誌・パンフレット等の改善・充実を図ると共に、教員による高校訪問等を通して募集活動の強化を図る。
- 地域貢献を目的とした教育内容や学習成果の公表により、地域での認知度・信頼度を向上させる。
- 同窓会や地域との連携を深め、地域に根ざした募集活動の展開と充実を図る。
- 学生募集に数値目標などを定め、分析調査に基づいた年間計画を立案し、その達成に努力する。

■ 【付属高等学校】

1 特色ある学校づくり

- 「日本一の学校づくり」の基本目標3年目として「日本一笑顔のある学校づくり」として捉え、教員・生徒が一体となって目標実現に努める。

2 地域貢献

- 学校行事を通して、地域との交流を深め、地域に愛され、地域に支持される学校を目指す。

3 生徒募集活動

- 地道な教育実践を通し、一人一人を大切に指導する学校として、生徒・保護者・卒業生による口コミ募集へ広げ、高・短一貫教育・スポーツ特待生の育成等短大付属高校の特性を最大限に有効活用した募集活動を展開する。
- 音楽科の入学生を最低10名以上確保し、入学者数を募集定員の110名に近づける。

■ 【付属幼稚園】

1 特色ある学校づくり

- 園児が主役となる園づくりに努め、園児の個性を伸ばし、短大の栄養学科・保育学科のサポートを受けた幼児教育の推進に努める。

2 地域貢献

- 地域の児童福祉団体との交流・子育て家庭の支援施策の継続を図る。
- 地域・家庭のニーズに応えた預かり保育の継続と充実を図る。

3 園児募集活動

- 幼児教育のレベルの高さ、物的・人的な幼児教育のコンテンツをPRする。
- 幼稚園を開放した、未就園児体験保育の継続と充実を図る。

■ 主な施設・設備の概要

- 安心安全な学園づくりを実現するため、耐震補強工事等を年次的・計画的に実施する。(平成23年度から26年度まで)
- 学生・生徒・園児にとって、快適な教育環境づくりを実現するため、整備・補修を年次的に実施する。(23年度から)

3 予算の概要

◆ 資金収支予算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位 円)

収入の部						
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	増減率	摘要	
学生生徒等納付金収入	226,157,000	254,703,000	△ 28,546,000	△11.2%	※1	
手数料収入	3,560,000	3,690,000	△ 130,000	△3.5%	※2	
補助金収入	284,355,000	142,685,000	141,670,000	99.3%	※3	
資産運用収入	7,189,000	6,256,000	933,000	14.9%	※4	
資産売却収入	0	100,000,000	△ 100,000,000	△100.0%	※5	
事業収入	18,158,000	10,891,000	7,267,000	66.7%	※6	
雑収入	150,000	150,000	0	0.0%	※7	
借入金等収入	45,000,000	0	45,000,000	-	※8	
前受金収入	40,585,000	37,885,000	2,700,000	7.1%	※9	
その他の収入	144,451,000	161,835,000	△ 17,384,000	△10.7%	※10	
資金収入調整勘定	△ 32,284,000	△ 35,060,000	2,776,000	△7.9%	※11	
前年度繰越支払資金	670,262,665	693,392,683	△ 23,130,018	△3.3%	※12	
収入の部合計	1,407,583,665	1,376,427,683	31,155,982	2.3%		
支出の部						
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	増減率	摘要	
人件費支出	309,900,000	341,400,000	△ 31,500,000	△9.2%	※13	
(教職員人件費・役員報酬)	309,300,000	326,400,000	△ 17,100,000	△5.2%		
(退職金支出)	600,000	15,000,000	△ 14,400,000	△96.0%		
教育研究経費支出	102,317,000	101,515,000	802,000	0.8%	※14	
管理経費支出	33,901,000	32,303,000	1,598,000	4.9%	※15	
借入金等利息支出	200,000	0	200,000	-	※16	
施設関係支出	214,350,000	20,000,000	194,350,000	971.8%	※17	
設備関係支出	3,600,000	6,550,000	△ 2,950,000	△45.0%	※18	
資産運用支出	30,000,000	100,000,000	△ 70,000,000	△70.0%	※19	
その他の支出	167,273,000	185,964,000	△ 18,691,000	△10.1%	※20	
[予 備 費]	17,000,000	12,000,000	5,000,000	41.7%	※21	
資金支出調整勘定	△ 8,780,000	△ 22,970,000	14,190,000	△61.8%	※22	
次年度繰越支払資金	537,822,665	599,665,683	△ 61,843,018	△10.3%	※23	
支出の部合計	1,407,583,665	1,376,427,683	31,155,982	2.3%		

- ※1 学生生徒等納付金収入 2億2,615万円(2,854万円減)
各部門の前年度予算との増減は次のとおりです。
短期大学 1億1,127万円 (1,390万円減)
附属高等学校 9,466万円 (853万円減)
附属第一幼稚園 1,175万円 (304万円減)
附属第二幼稚園 847万円 (306万円減)
- ※2 手数料収入 356万円(13万円減)・・・主なものは短期大学、附属高等学校の入学検定料です。
- ※3 補助金収入 2億8,435万円(1億4,167万円増)
国庫補助金 1億4,000万円(1億2,800万円増)・・・平成23年度は、耐震補強工事に係る補助金を計上しています。
地方公共団体補助金 1億4,435万円(1,367万円増)・・・平成23年度は、耐震補強に係る補助金を計上しています。
各部門の主な補助金の見込み額は次のとおりです。
短期大学 (文部科学省)私立大学学常費補助金4,500万円 防災機能強化施設整備費補助金1,500万
附属高等学校 (文部科学省)防災機能強化施設整備費補助金8,000万円,(山口県)運営費補助金7,425万円, 教育近代化設備整備費補助金2,600万円,(下関市)運営費補助金350万円
附属第一幼稚園 (山口県)運営費補助金1,500万円,(下関市)運営費補助金83万円, 就園奨励費補助金650万
附属第二幼稚園 (山口県)運営費補助金1,098万円,(下関市)運営費補助金67万円, 就園奨励費補助金500万
- ※4 資産運用収入 718万円(93万円増)
受取利息配当金 534万円(68万円増)・・・預金利息・有価証券配当金等の見込額です。
施設設備利用料 184万円(25万円増)・・・施設設備の賃借料収入等です。
- ※5 資産売却収入 0円(1億円減)
有価証券売却収入 0円(1億円減)・・・平成23年度は満期となる有価証券はありません。
- ※6 事業収入 1,815万円(726万円増)
補助活動収入 1,059万円(29万円減)・・・附属第一・第二幼稚園の給食費収入、スクールバス収入を計上しています。
受託事業収入 緊急雇用対策として山口県から委託された臨時訓練(保育士養成科)業務の委託料を計上しています。
- ※7 雑収入 15万円(増減なし)
- ※8 借入金等収入 4,500万円(4,500万円増)・・・耐震補強工事費用の一部を日本私立学校振興共済事業団から融資を受ける予定です。
- ※9 前受金収入 4,058万円(270万円増)・・・平成23年度末までに入金が見込まれる平成24年度の授業料・入学金を計上しています。

※10	その他の収入	1億4,314万円(1,869万円減)
	前期末未収入金収入	90万円(2,222万円減)・・・平成22年度末において未収が見込まれる納付金、補助金等の平成23年度入金予定額です。
※11	資金収入調整勘定	3,636万円(130万円増)
	期末未収入金	300万円(増減なし)・・・平成23年度末に未収が見込まれる授業料等です。
	前期末前受金	3,336万円(130万円増)・・・平成22年度末までに入金予定の平成23年度の授業料・入学金です。
※12	前年度繰越支払資金	6億6,000万円(3,339万円増)・・・平成22年度から繰越される現金預金の額です。
※13	人件費支出	3億990万円(3,150万円減)
	教職員人件費・役員報酬	3億930万円(1,710万円減)
	退職金支出	60万円(1,440万円減)
※14	教育研究経費支出	1億231万円(80万円増)
※15	管理経費支出	3,390万円(159万円増)
※16	借入金等利息支出	20万円(20万円増)・・・日本私立学校振興共済事業団からの借入に係る利息を計上しています。
※17	施設関係支出	2億1,435万円(1億9,435万円増)・・・本館Ⅰ・Ⅱ期の耐震補強工事費、演習棟1階トイレ改修工事費等を計上しています。
※18	設備関係支出	360万円(295万円減)・・・短期大学・第一幼稚園の空調設備改修工事等を計上しています。
※19	資産運用支出	3,000万円(7,000万円減)
	有価証券購入支出	3,000万円(7,000万円減)・・・預貯金に替えて有価証券で運用する予定です。
※20	その他の支出	1億6,696万円(1,900万円減)
	前期末未払金支払支出	2,472万円(2,252万円減)・・・平成22年度末未払金の平成23年度支払予定額です。
※21	予備費	1,700万円(500万円増)
※22	資金支出調整勘定	878万円(1,419万円減)
	期末未払金	878万円(1,419万円減)・・・平成23年度末の未払金予定額です。
※23	次年度繰越支払資金	5億2,248円(7,718万円減)・・・平成24年度に繰越す現金預金の残高です。

◆ 消費収支予算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

この項では主に資金収支予算書にない科目について説明します。

(単位 円)

消費収入の部					
科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	増減率	摘要
学生生徒等納付金	226,157,000	254,703,000	△ 28,546,000	△11.2%	
手数料	3,560,000	3,690,000	△ 130,000	△3.5%	
寄付金	750,000	1,000,000	△ 250,000	△25.0%	※1
補助金	284,355,000	142,685,000	141,670,000	99.3%	
資産運用収入	7,189,000	6,256,000	933,000	14.9%	
資産売却差額	0	25,000	△ 25,000	△100.0%	
事業収入	18,158,000	10,891,000	7,267,000	66.7%	
雑収入	150,000	150,000	0	0.0%	
帰属収入合計	540,319,000	419,400,000	120,919,000	28.8%	
基本金組入額合計	△ 158,200,000	△ 15,250,000	△ 142,950,000	-	※2
消費収入の部合計	382,119,000	404,150,000	△ 22,031,000	△5.5%	
消費支出の部					
科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	増減率	摘要
人件費	309,900,000	330,400,000	△ 20,500,000	△6.2%	
(教職員人件費・役員報酬)	(309,300,000)	(326,400,000)	(△ 17,100,000)	△5.2%	
(退職給与引当金・退職金)	(600,000)	(4,000,000)	(△ 3,400,000)	△85.0%	
教育研究経費	144,817,000	148,115,000	△ 3,298,000	△2.2%	
(うち減価償却額)	(42,500,000)	(46,600,000)	(△ 4,100,000)	△8.8%	
管理経費	38,351,000	36,853,000	1,498,000	4.1%	
(うち減価償却額)	(4,450,000)	(4,550,000)	(△ 100,000)	△2.2%	
借入金等利息	200,000	0	200,000	-	
資産処分差額	0	30,000	△ 30,000	△100.0%	
徴収不能引当金繰入額	3,300,000	4,000,000	△ 700,000	△17.5%	※3
[予 備 費]	17,000,000	12,000,000	5,000,000	41.7%	
消費支出の部合計	513,568,000	531,398,000	△ 17,830,000	△3.4%	
当年度消費支出超過額	131,449,000	127,248,000		-	※4
前年度繰越消費支出超過額	445,749,000	406,786,000		-	
基本金取崩額	1,100,000	10,020,000	△ 8,920,000	△89.0%	※5
翌年度繰越消費支出超過額	576,098,000	524,014,000		-	

※1 寄 付 金

法人振興会からの現物寄付金の予定額を計上しています。

※2 基本金組入額

耐震補強工事等による資産計上見込み額から借入金に係る未組入れ額を差引いた額を計上しています。

※3 徴収不能引当金繰入額

平成23年度授業料等の未収見込額のうち次年度徴収不能を推定した額を計上しています。

※4 当年度消費支出超過額

消費収入が3億3,211万円(前年比2,203万円減)、消費支出が5億1,356万円(前年比1,783万円減)となるため、平成23年度予算は1億3,144万円の支出超過となる見込です。

※5 基本金取崩額

110万円(892万円減)・・・既に基本金に組入れている平成23年度除却予定資産の取得価格を計上しています。